

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3rdQ	1年	2単位	選択
担当教員			
牟田 美信			

講義概要	<p>この授業では、次の3項目を意識しながら様々な活動に参加してもらおう。</p> <p>1) 教室で獲得した知識を社会的活動の中で実際に活用することで、現実社会で実際に活用できる知識・技能へと変化させること。</p> <p>2) 社会的活動を通して、将来の職業について考える機会を持つこと。</p> <p>3) 自らの社会的役割を意識し、市民として必要な資質や能力を高めること。</p> <p>学びの実践例：授業で身につけた語学力を活用し、地域で必要とされる情報発信のために翻訳や通訳をする。地域の子供達に英語を教える。高齢化で年々担い手が少くなる地域のお祭りを支援する。 地域の例：相浦地区、高島地区、黒島地区（公民館活動、地域の歴史のお祭り支援、等） 短大での活動例：学園祭の企画運営 等 その他：「ねんりんピック長崎2016」活動支援、長崎新聞「JAM」発行活動 等</p>
授業計画	各自、参加する活動の準備（打ち合わせ含む）・計画・実践を行う。 原則、9月27日（火）～11月17日（木）火曜日と木曜日を授業日とする。
授業形態	実習
到達目標	<p>本科目をサービ斯拉ーニングⅢ（応用）と位置づけ、5つの指標を到達目標として設定する。</p> <p>①【コミュニケーション力】話・意見を聞き、自分の意見をしっかりと且つ人間関係を円滑にすることを心がけ、伝える方法を考えることができる。</p> <p>②【主体性】社会・実習先の帰属意識を高め、周囲の状況を判断し積極的に自分ができることを探すことができる。</p> <p>③【規律性・忍耐力】グループの取組や個人の役割の中で新たな課題を発見し、目標を追加・再設定した上で、確実に役割・目標を全うできる。</p> <p>④【ストレスコントロール力】自分が負担・ストレスに思うことを解決する具体的な方法を発見することができる。</p> <p>⑤【課題発見力】活動全体と各役割を認識し、計画する上で活動自体の様々な課題を予知することができる。</p>
評価方法	活動報告書、活動関係者の評価をもって判定する。 尚、60時間以上の活動をもって評価する。
評価基準	活動報告書（60%）、活動関係者評価（40%）
教科書・参考書	授業中に指示をする。
履修条件	「ギャップイヤー事前指導」を履修し、「ギャップイヤー事後指導」を履修すること。
履修上の注意	積極的に地域の方々とコミュニケーションをとるようにすること。 インターンシップ希望者も、インターンシップ実施に影響がなく、並行して参加できる地域活動等があれば参加が可能な場合もある。担当の教員に確認すること。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） *その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	将来、社会で生き生きと活躍するために、地域での活動はとても貴重な経験となります。 積極的に参加することを勧めます。